

IV-247 民話を用いた地域づくりに関する研究

京都大学工学部 正 員 ○竹林 幹雄
 京都大学大学院 正 員 佐佐木 綱
 京都大学大学院 学生員 東 徹

1. 研究目的

本研究では、地域の個性を見出す一手法として民話を用いたイメージの分析手法を提案する。本研究では、名詞を用いた連想実験と形容詞を用いたSD実験から得られたデータより、民話イメージを推定し、さらにこれを用いた公園演出についての考察を行った。

2. 心理実験の概要

対象地域としては京都府綾部市を、民話は同市内の山間部に伝承される「天狗の詫び証文」をそれぞれ選定した。

民話イメージの特性把握のために民話を読むことによる心理上の変化を分析する。その手法として民話イメージを表すと考えられる言葉に対し、「言葉の連想」に着目した制限連想実験と、情緒的なイメージを把握するSD実験を読書前後に被験者に行った。

3. 分析手法の概要

①制限連想実験：言葉の連想過程を単純マルコフ過程と見なし、刺激語からの連想の推移状態を確率で表記した推移確率行列を求める。この行列から得られる極限の状態確率を連想パターンの反映値と考え、各刺激語の極限状態確率の合計が100となるように規準化したものを『イメージウェイト(I.W.)』と定義する。I.W.は、その言葉の「思い浮かべ易さ」を表す指標である。

I.W.の変化の大きい言葉、あるいは値自体の大きな言葉に着目することにより、民話イメージの特性を定量的に把握した。

②SD実験：過去の景観研究等の資料を基に、民話の情緒的な面に対する影響を把握するための形容詞対を選定した。この形容詞対を各刺激語に対して与え、その言葉の印象を聞く。得られたデータを因子分析を用いて主因子分析を行い、影響の背景因

子の類推を行った。これから、民話を読むことによって情緒的には若干の変化が現れ、同時に背景因子を基に印象の類似した言葉を把握することができた。背景因子としては、陽気な・陰気な（第1因子）、威厳のある・庶民的な（第2因子）、男性的な・女性的な（第3因子）が抽出され、これに関しては読書前後でもほとんど相違がないことがわかった。また、この結果を利用してクラスター分析を使用し、連想との関係を把握することを行った。

4. 分析結果の概略

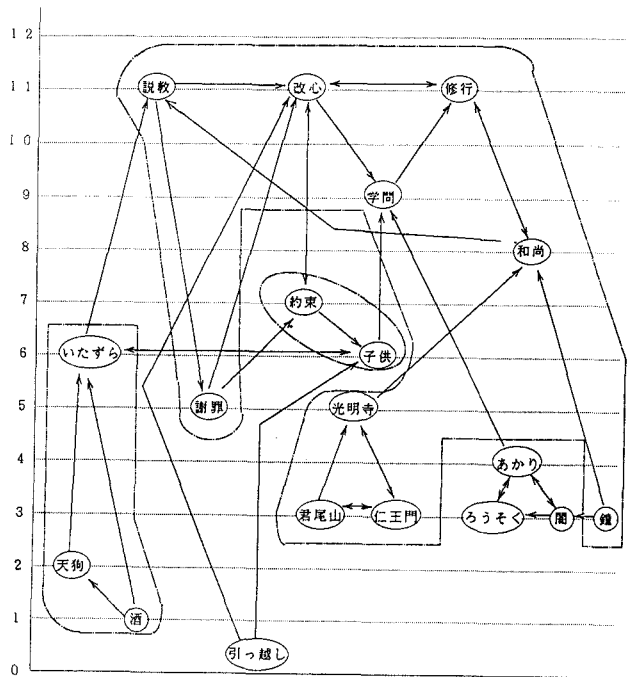


図1 イメージ構造図（事前）

①、②の実験結果を視覚的に表現したものが図1、図2である。縦軸はI.W.の値の大きさを示す。また、破線等で囲まれているものはクラスターを示す。これは、想起関係を有する言葉同士で情緒の意味が類

似する傾向にあるものを、クラスター分析の結果を参照することにより、一括して表記したものである。図1は事前段階を示すものであり、比較的情緒的意味の近い言葉同士の間で『連想』が生じていることが認められる。また、想起の方向性（ $\leftrightarrow$ や $\rightarrow$ で示される）に明確なものが認められず、このためイメージのまとまりの強度としては緩やかなものと捉えられる。

事後(図2)ではI.W.による明かな序列化、および想起の方向に一定の集約点が認められる。そして情緒的なまとまりが細かく分割される傾向にあることも認められる。このことから事後では民話の影響により、複数のイメージを表すクラスターが統合され、イメージの組織化が明確に現れるということがわかった。すなわち、図2に示される集約パターンでイメージが生起する場合は多いのである。以上のことから民話のキーワードを抽出したものを表1に示す。また、民話イメージを深層心理学の研究等を参考にしして解釈した場合、天狗に示されるコンプレックスと和尚に象徴される自我の対立の解消の図式を、事後のイメージ構造図は示していると考えられる。

5. 民話を用いたテーマパーク

以上の結果を用いて民話イメージを反映させた公園づくりを考察した。この場合キーワードの情緒的意味を用いて、別個に採取した公園構成言語（これに対してもSD実験を行っている）に対するアナロジーを行った。そして、これら構成言語の個別の関係は民話イメージに記述されたクラスター間のつながりを用いて配置演出を考慮した。結果的に図3に示される大きく3ゾーンで構成される公園形態が案出された。

6. 今後の展開

民話を基調とした地域づくりを考えた場合、より多くの民話を解析することが不可欠である。また、実在空間の演出の際、アナロジーに限らず多様な分析手法を考慮する必要がある。

<参考文献>

- 1) 佐佐木 綱・小長井由隆・竹林幹雄・逢坂謙治; 民話を用いた地域計画手法に関する研究, 土木計画学研究・講演集NO.13, P.153~160, 1990.
- 2) 河合隼雄; 昔話と日本人の心, 岩波書店, 1982.

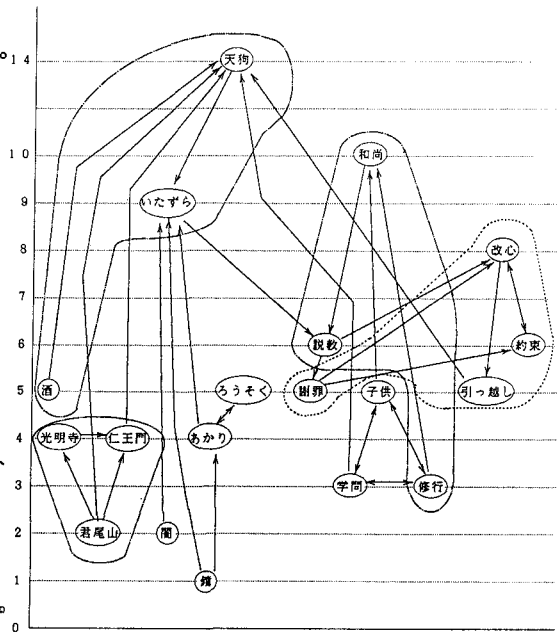


図2 イメージ構造図（事後）

表1 キーワード一覧

	象徴言語
上位概念	天狗 和尚 改心 (仁王門)
補助概念	いたずら 謝罪 説教 引っ越し

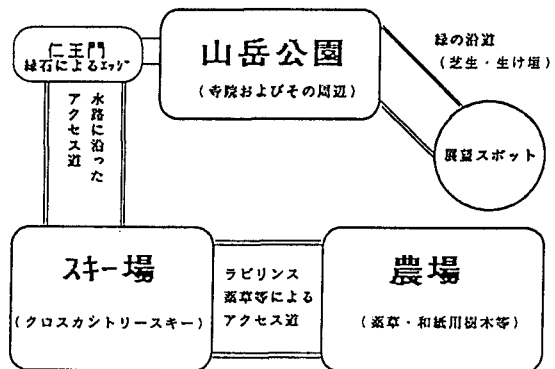


図3 テーマパークの概念図